

■テーマ② 公園の防災改修について



当代島地区は大きな公園はないけれど、実は公園がけっこう点在しているんだよね。
既存の公園を災害時に活かすことも考えられないのかな？

当日は、防災施設の整備だけでなく、日頃からの維持管理も含めてアイデアを話し合ったよ！



主なご意見

公園に必要な防災施設等

- 必要な防災施設：ソーラー照明灯、防犯カメラ、トイレ・水の確保。
- 自治会館が炊き出し等の拠点になるように、船入欲動にかまどベンチやマンホールトイレ等を整備する。
- 当代島児童公園：障がい者向けの情報伝達設備、車の進入スペース（擁壁の改修）



マンホールトイレの事例

公園の維持管理

- 防災設備の利用・点検を兼ねた防災訓練
- 地域で活用したい公園
 - ・船入緑道：炊き出しなどの生活支援拠点
 - ・当代島児童遊園：視覚・聴覚障がい者向けの情報拠点
 - ・大川端児童公園：がれき・ゴミ集積所など
- 公園以外の活用（自治会館、寺社地、河川沿いなど）



マンホールトイレの組立訓練の様子

2

今後の防災まちづくり方針の検討の進め方

これまでのワークショップ等での意見交換の成果等を踏まえて、令和4年度以降は「防災まちづくり方針」の策定に向けて、説明会等によって地域のご意向を確認しつつ、方針案のとりまとめを行う予定です。今後ともご協力の程よろしくお願いいたします。

問合せ先

浦安市 都市整備部 市街地整備課 当代島地区担当：熊川、柴田、西野
〒279-8501 浦安市猫実一丁目1番1号
TEL 047-712-6564(直通)

【当代島地区について検討中！】

防災まちづくりに関するお知らせ



1

当代島地区の防災まちづくり方針を検討しています！

浦安市では、当代島地区のまちの特性に合った防災まちづくりの方針について検討しています。

平成29年度にはまちの住みやすさや、まちづくりの課題について住民アンケートを行った結果、当代島地区は駅に近いことから利便性が高く、住みやすい一方で、歩道が狭く歩きにくいと行ったご意見を多く頂きました。このような日常時の身近な課題を踏まえつつ、災害時に円滑に防災活動ができるまちづくりの検討を地域の皆さんとともに進めたいと考えています。



本紙では、当代島第九自治会や消防団のみなさんとの意見交換の内容や浦安市が検討している当代島地区の防災まちづくり方針の検討状況についてご紹介します！

自治会・消防団のみなさんとの意見交換の内容をご紹介します！

令和3年度は自治会・消防団の皆さんにご協力をいただき、全3回の防災まちづくり方針に関する意見交換会を行いました。第1回はこれまでの取組の振り返りを行い、浦安市が検討している防災まちづくりにおける“まちの課題”についてご説明し、意見交換を行いました。

第2回では、第1回に特に関心の高かった「太源通りの歩行者空間の改善」と「公園の防災改修」についてワークショップ形式での意見交換を行いました。

頂いたご意見を基に、本地区の防災まちづくり方針の検討を進めていきます。

日程	内容
第1回意見交換会 (令和3年11月)	・これまでの振り返り ・防災まちづくりの方向性（たたき台）
第2回意見交換会 (令和3年12月)	・テーマ別検討ワークショップ 1) 太源通りの歩行者空間の改善 2) 公園の防災改修
第3回意見交換会 (令和4年1月)	・意見交換のまとめ

表：令和3年度の自治会・消防団との意見交換の流れ



写真：意見交換の様子

第1回意見交換：防災まちづくりにおける“まちの課題”



まちの課題って言っても、大きな課題から身近な小さな課題まで色々あるよね。
どんな視点で取り組むのが良いのかな？

意見交換でも、短期的に効果が出ることを重視してほしいという声があったわ。
まちづくりには解決に時間がかかる課題もあるから、短期、中期、長期と課題を分けて考えていく必要があるわね！



主なまちの課題①：太源通り沿いの歩行者空間

・太源通り沿いは、3つの公園・広場や公民館があり、重要な防災活動の軸となる道路と考えられますが、歩道が狭く歩きにくいことが課題になっています。

主なまちの課題②：既存の公園の防災活用

・当代島地区内は、大きな公園はありませんが、既存の公園が点在しています。これらを災害時に有効に活用していくことも防災性向上につながると考えています。

主なまちの課題③：旧江戸川沿いの道路

・地区を南北に横断できる主要な道路のひとつですが、狭い区間が一部あります。通勤・通学時にクルマがスピードを出して通るので怖い思いをしたといったご意見を頂いています。

主なまちの課題④：未接道宅地

・漁師町だったまちの成り立ちから、建築基準法が求める幅員4m以上の道路に接道できず、建替えができない敷地が残っています。これらへの対応も重要な課題です。

主なご意見

●取組全体について

・いつできるかわからない取組を掲げるよりも、短期的に効果が出ることを重視して取り組んでほしい。

●太源通り沿いの歩行者空間の改善について

- ・側溝にひっかかって、ハイヒールの女性や車イスが通りにくい。
- ・太源通りの側溝のフタは調査して必要がなければ埋められないか。
- ・一方通行や歩道を片側だけ広げるなど、歩道空間を広げられないか。
- ・電線類の地中化ができないか。

●公園の防災改修について

- ・子どもの遊び場としての機能とのバランスが大切。
- ・災害時にテント・車中泊で使う場合、仮設の電柱を引き込むなどの非常時の電源確保や、マンホールトイレ等の確保が必要ではないか。

第2回意見交換：テーマ別の検討ワークショップ

■テーマ① 太源通り沿いの歩行者空間の改善について



太源通り沿って、公民館や公園が点在していて、災害時に役立ちそうだけど、歩道が狭くてちょっと歩きにくいよね。もう少しなんとかできないかな？

ワークショップでは、いろいろなアイデアが出てきたよ！



主なご意見

整備のコンセプト

- 太源通りを明るく歩きやすい当代島のメインストリートにする。
- ・「太源通り」という名称は若い人は知らないため、名称のサインなどを設置して歴史や由来を伝えることも大切。

短期的な取組アイデア

- 側溝に杖やハイヒールが挟まって危ない。
⇒側溝の改善（蓋がないタイプ・スリット型等で集水性が高いものを整備する）
- 歩道が狭くて、歩行者や自転車がすれ違えない。
⇒ガードパイプの改善（撤去する、縁石に載せるなど）

中・長期的な取組アイデア

- 建替え時にセットバックして歩道を広げる
⇒まず公共施設をセットバックする
⇒一定規模以上の集合住宅などが建つ場合にはセットバックしてもらえないか？
- 太源通りの一方通行化により歩道を広げる
⇒賛成する人もいるが、実際には難しいのではないか？
- 電線類地中化
⇒壁面後退等で歩道が広がった際には検討する。



スリット型側溝の整備例